

かごしま茶通信

公益社団法人 鹿児島県茶業会議所

鹿児島市南栄3丁目12

TEL(099)267-6063

FAX(099)267-6957

<http://www.ocha-kagoshima.jp>

発行責任者

会頭 柚木弘文



令和茶まつり開催

4年ぶりの百円茶屋大好評

恒例の「新茶まつり」を5月13日、14日に鹿児島中央駅アミュ広場で開催しました。「新茶まつり」は平成11年に初開催して以来、今回で24回目を迎えました。これまで新型コロナウイルスの影響により実施できなかった「かごしま百円茶屋」を、今年は4年ぶりに開催いたしました。百円茶屋を楽しみに待ち望んでいたお客様もおられ、多くの

来場者で賑わいました。今回は、13店舗が出店し、試飲・販売を行いました。かごしまCHAガールとのジャンケン大会やガラポン抽選会も行われ、子供から大人まで楽しんでいただきました。日本一早い走り新茶が生産され全国有数の生産量を誇る鹿児島の新茶を、いち早く消費者の皆様へ届ける良い機会となりました。



令和5年度事業計画及び収支予算

(公社)鹿児島県茶業会議所

I 基本方針

本県の茶業は、関係者の意欲的な取組により、生産量は全国の3割を占め、2019年の農業産出額では静岡を抜いて日本一になるまでに発展し、品質面においても全国茶品評会で19年連続となる産地賞や農林水産大臣賞を受賞するなど、量・品質ともに全国有数の産地となっている。

一方、緑茶の消費は、リーフ茶と緑茶飲料の消費額が逆転するなど、簡便な形態での飲用に移行し、リーフ茶の消費が減少傾向にある。

さらに、令和4年度の生産販売状況は、繰り返す新型コロナウイルスの発生拡大や、日本経済のグローバル化による急速な円安やウクライナ情勢などの影響で、生産から流通業界まであらゆる場面で生産資材等が高騰するなど、厳しい状況が続いている。

このような中、安全・安心でクリーンなかごしま茶の情報発信等の取組を積み重ねることにより、緑茶需要の回復と掘り起こしを図るとともに、県内をはじめかごしま茶の国内外へのアピールを継続する。

かごしま茶の販路拡大については、51年ぶりに本県で開催される国体に併せ各地で実施されるかごしま茶のPRや消費拡大宣伝活動を積極的に支援するとともに、引き続き「新茶まつり」、「お茶一杯の日」のイベントやふれあい活動を実施し、「かごしま百円茶屋」の開催等を通じて「かごしま茶」の魅力・茶文化を県内外の消費者に伝える。

また、IT利用世代への情報発信・知名度向上の手段として、ホームページやSNS(Instagram)を積極的に活用しPRに努める。

かごしま茶の県外での販売拠点となる「かごしま茶販売協力店」については、かごしま茶販売促進フェアの実施や販促資材の支援等によりかごしま茶の販売拡大を図る。

かごしま茶の輸出については、サプライチェーンシステムによる輸出仕向け茶の生産・流通の拡大を図るとともに、国内外でのかごしま茶のPRや商談会により販路の開拓・拡大を図る。

鹿児島県茶業振興大会は、霧島市・湧水町で開催する。

さらに、県茶市場の円滑、適正な運営と債権損失補償事業の適正な運営に努め、かごしま茶の流通の拡大を図る。

II 実施計画

1 かごしま茶流通拡大対策事業(公益目的事業)

(1) 茶業振興対策事業

県茶業振興大会を開催し生産農家の意欲向上と茶業振興の意思統一、消費拡大を図るとともに、全国組織・関連団体と連携・協調し我が国の茶業振興を図る。

ア 県茶業振興大会事業

式典等(霧島市・湧水町)、県品評会等審査会9月

イ 全国関係団体連携事業

- ・茶業中央会事業(公社)日本茶業中央会等との連携活動)
- ・全国お茶まつり等助成事業～全国お茶まつり(福岡県八女市)

ウ かごしま茶情報発信事業

- ・かごしま茶通信の発行(3回)
- ・SNS(Instagram)を活用した情報発信
- ・会議所ホームページによる国内外への情報発信

(2) かごしま茶ふれあい事業

茶業専門家の緑茶の普及活動や若者の緑茶とのふれあいを支援するほか、専門店・消費者へのかごしま茶の認知度向上などの活動を通して、日本の食文化における緑茶の普及定着と安全・安心でクリーンなかごしま茶の流通の拡大を図る。

助成事業の活用

- ・国内消費：①「かごしま茶」魅力創出事業(県補助金)
- ・輸出：(かごしまの農林水産物輸出促進事業ビジョン推進事業)
 - ②「かごしま茶」の新たな販路開拓支援事業(県補助金)
 - ③ 日本茶輸出促進協議会事業

ア 消費者お茶ふれあい事業

- ・日本茶インストラクター支部支援
- ・茶業青年団等活動支援～全国闘茶会・T-1グランプリ実施への支援
- ・子ども達等のお茶とのふれあい活動支援
- ・かごしま百円茶屋の展開
- ・新茶まつり等イベントの開催
令和5年新茶まつり(5月13日・14日)、お茶一杯の日(11月23日)

- ・量販店等一斉キャンペーンの支援
- ・観光客等への「かごしま茶」のPRとふるまい（空港、仙巖園等）
- ・ホテルとタイアップしたPR(宿泊客等を対象)
- ・「燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会」での「かごしま茶」のPRと各地でのイベント支援
- ・かごしまお茶大使の活用（6名）
 - *現在委嘱者… ①榎木孝明 ②国生さゆり ③宮下純一 ④哀川翔 ⑤桂竹丸 ⑥A I
- ・かごしま茶サポーター育成・支援（県外で活動するサポーターを育成支援）

イ かごしま茶知名度向上対策事業

- ・電照看板等の設置（鹿児島中央駅等）
- ・マスコミによるPR等（新茶PR、冷茶など季節毎の発信）
- ・お中元、お歳暮時期でのPR(ラジオCM)
- ・かごしま茶宣伝資材の作製（一煎パック、ティーパック）
- ・かごしま茶PRビデオの活用（日本語・英語版）

ウ 販売協力店等対策事業

- ・宣伝販売求評会の開催(4月、11月)
- ・販売協力店の強化
かごしま茶販売促進フェア(5月・11月)
- ・産地ツアーの実施

エ かごしま茶ブランド確立事業

- ・クリーンなかごしま茶づくりの推進
- ・茶のかごしまブランドの推進
- ・かごしま標章茶の推進，かごしま茶ブランド確立推進委員会の開催

オ かごしま茶輸出対策事業

- ・かごしま茶輸出対策実施本部会等の開催
- ・かごしま茶輸出サプライチェーンの推進
輸出向け実証圃の設置，残留農薬試験（日本茶輸出促進協議会との連携）
- ・情報の発信(英文HP)
- ・海外におけるかごしま茶のPRと販路の開拓・確保
在米コンサルタントの設置（FDA登録、活動報告等）、茶商による商談活動の支援
海外の茶コンテストへの出品支援
- ・日本茶大使を活用した「かごしま茶」の魅力発信

(3) 茶市場運営事業

- 出荷者、買受人、卸業者と緊密な連携の下、茶市場運営委員会を開催し、円滑な茶市場運営と荒茶流通を図る。
- ・茶市場運営委員会の開催
- ・茶市場催事の開催
新茶初取引会(4月)、献茶祭(5月)、新春初取引会(1月)

2 債権損失補償事業（収益事業会計）

- 茶市場における卸業者の債権の損失を補償することによって、取引の活性化と安定化を図る。
- ・買受人の信用調査の実施
- ・履行保証保険への加入
- ・債権損失限度額審査委員会の開催

3 管理事業（法人会計）

- 法人を管理するための、総会・理事会等の会議、事務所の運営、人件費の支出を行う。

~~~~~

# 令和5年度 収支予算

(単位:千円)

| 科 目          | 令和5年予算額(A) | 令和4年予算額(B) | 増減(A)-(B) |
|--------------|------------|------------|-----------|
| I 一般正味財産増減の部 |            |            |           |
| 1. 経常増減の部    |            |            |           |
| (1) 経常収益     |            |            |           |
| 受取会費（計）      | 540        | 540        | 0         |
| 受取経済連会費      | 180        | 180        | 0         |
| 受取茶生産協会会費    | 180        | 180        | 0         |
| 受取茶商協会会費     | 180        | 180        | 0         |
| 受取負担金（計）     | 63,545     | 63,545     | 0         |
| 受取経済連負担金     | 19,525     | 19,525     | 0         |
| 受取生産協会負担金    | 23,862     | 23,862     | 0         |
| 受取茶商協負担金     | 20,158     | 20,158     | 0         |



(単位:千円)

| 科 目                | 令和5年予算額(A) | 令和4年予算額(B) | 増減(A)-(B) |
|--------------------|------------|------------|-----------|
| 受取履行保証保険負担金(計)     | 2,001      | 2,001      | 0         |
| 受取経済連負担金           | 1,401      | 1,401      | 0         |
| 受取茶商協負担金           | 600        | 600        | 0         |
| 運用益(計)             | 18,010     | 18,010     | 0         |
| 債権損失補償準備特定資産運用益    | 17,600     | 17,600     | 0         |
| 国債簿価調整             | 410        | 410        | 0         |
| 受取補助金(計)           | 7,050      | 6,940      | 110       |
| 受取県補助金(魅力アップ対策)    | 3,250      | 3,240      | 10        |
| 受取県補助金(輸出拡大対策)     | 2,850      | 2,900      | △50       |
| 受取補助金(国産茶需要拡大補助金)  | 950        | 800        | 150       |
| 雑収益(計)             | 530        | 530        | 0         |
| 雑収入                | 530        | 530        | 0         |
| 経常収益計              | 91,676     | 91,566     | 110       |
| (2) 経常費用           |            |            |           |
| ① かがしま茶流通拡大事業      | 61,979     | 71,263     | △9,284    |
| ア 茶業振興対策事業         | 8,544      | 9,309      | △765      |
| (ア) 茶業振興大会開催事業     | 5,399      | 3,759      | 1,640     |
| (イ) 全国関係団体連携事業     | 1,620      | 3,430      | △1,810    |
| (ウ) かがしま茶情報発信事業    | 1,525      | 2,120      | △595      |
| イ かがしま茶ふれあい事業      | 52,151     | 60,570     | △8,419    |
| (イ) 消費者お茶ふれあい事業    | 23,762     | 23,184     | 578       |
| (ロ) かがしま茶知名度向上対策事業 | 17,098     | 24,910     | △7,812    |
| (ウ) 販売協力店等対策事業     | 5,000      | 5,130      | △130      |
| (エ) かがしまブランド確立事業   | 421        | 361        | 60        |
| (オ) かがしま茶輸出対策事業    | 5,870      | 6,985      | △1,115    |
| ウ 茶市場運営事業          | 1,284      | 1,384      | △100      |
| ③ 債権損失補償事業         | 5,212      | 5,265      | △53       |
| ④ 管理事業             | 24,485     | 25,622     | △1,137    |
| 経常費用計              | 91,676     | 102,150    | △10,474   |
| 当期経常増減額            | 0          | △10,584    | 10,584    |
| 2. 経常外増減の部         | 0          | 0          | 0         |
| (1) 経常外収益          | 0          | 0          | 0         |
| (2) 経常外費用          | 0          | 0          | 0         |
| 当期経常外増減額           | 0          | 0          | 0         |
| 他会計振替額             | 0          | 0          | 0         |
| 当期一般正味財産増減額        | 0          | △10,584    | 10,584    |
| 一般正味財産期首残高         | 84,323     | 77,682     | 6,641     |
| 一般正味財産期末残高         | 84,323     | 67,098     | 17,225    |
| II 指定正味財産増減の部      |            |            | 0         |
| (1) 受取債権損失補償負担金(計) | 6,200      | 7,000      | △800      |
| 受取債権損失補償県内取引負担金    | 6,000      | 6,700      | △700      |
| 受取債権損失県外取引負担金      | 200        | 300        | △100      |
| (2) 債権損失           |            |            | 0         |
| 当期指定正味財産増減額        | 6,200      | 7,000      | △800      |
| 指定正味財産期首残高         | 1,469,044  | 1,462,829  | 6,215     |
| 指定正味財産期末残高         | 1,475,244  | 1,469,829  | 5,415     |
| III 正味財産期末残高       | 1,559,567  | 1,536,927  | 22,640    |

(注) 一般正味財産、指定正味財産の期首及び期末残高は本予算編成時の見込額です。



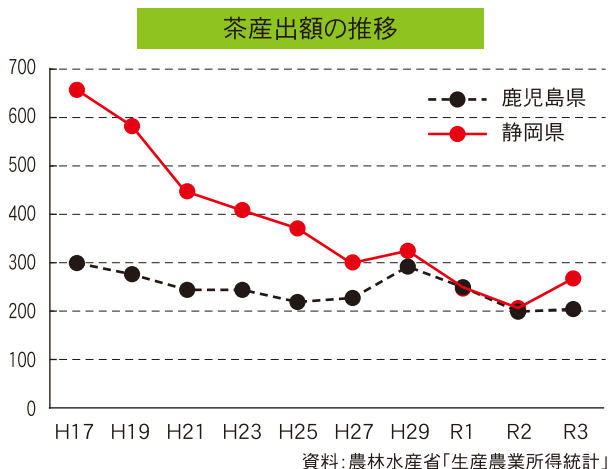
# 令和5年度 鹿児島県茶業振興対策について

鹿児島県農産園芸課

## 1 はじめに

本県は、茶の荒茶生産量・栽培面積ともに静岡県に次ぐ全国第2位を誇る産地であり、令和4年度の荒茶生産量は、全国の約35%（1位の静岡県は37%）を占めるなど、全国における本県の荒茶生産量・栽培面積のシェアは増加傾向にあります。

また、令和3年の茶産出額は239億円で、静岡県の268億円の伯仲しています。



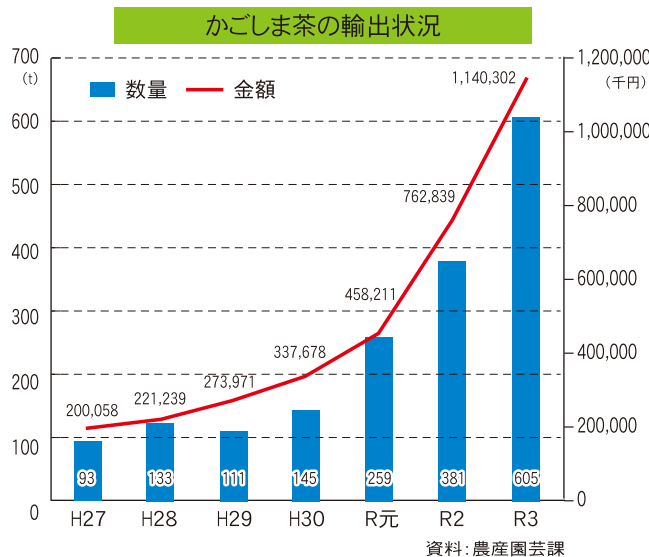
さらに、全国茶品評会の普通煎茶10kgの部において19年連続で産地賞を獲得するなど、品質でも高い評価を得ています。

一方で、令和4年産茶の平均単価は、新型コロナウイルス感染症の影響を受ける前の水準まで回復したものの、燃料や資材価格の高騰により、茶生産者の経営は、依然として厳しい状況にあります。

そこで、県においては、平成31年3月に策定

した『「かごしま茶」未来創造プラン』に基づき、「儲かる茶業経営」を目指して、各般の施策を推進しています。

特に、海外で健康志向を背景に、緑茶の人気の高まっていることから、欧米での需要が高い有機栽培茶や抹茶の原料となるてん茶の生産拡大など、輸出拡大に向けた取組を支援しています。



## 2 令和5年度の主な取組内容

令和5年度の主な取組内容について御紹介します。

### (1) 生産者の経営安定

生産者の経営安定を図るため、引き続き優良品種への新・改植を進めるとともに、地域での加工拠点づくりなど各地区における収益性向上に向けた取組を支援します。

また、燃料の価格が一定の基準を超えた場合に補填金を交付する国の茶セーフティネット構築事業への加入促進に努めてきたところです。

## (2) 加工及び流通の高度化

多様な消費形態に対応するため、生産者・茶商による商品開発や営業活動の強化など、経営の多角化や販売チャンネルの拡大など、流通の高度化を推進します。

## (3) 品質・付加価値の向上促進

新たな需要に対応した栽培・加工技術の研究やその普及、消費者のライフスタイルに対応した抹茶・紅茶やドリンク原料茶など多様な茶づくりの推進、消費者の安心・安全に対するニーズに対応するため、国際水準GAPや有機JASなど第三者認証の取得を推進します。

また、農薬の飛散防止対策については、他品目の生産者の理解を得ながら、「収穫直前お知らせ旗」設置等の取組を進めています。

## (4) 消費の拡大

かごしま茶の消費拡大については、4年ぶりに再開となった「かごしま百円茶屋」の実施や、茶販売協力店と連携した茶商等の営業活動への支援を通じ、多種多様な茶種・品種を提案することで、「かごしま茶」の認知度向上を図り、ファン拡大につなげていきます。

本年度福岡県で開催される「全国茶品評会」においては、普通煎茶10kgの部で20年連続産地賞や複数部門での上位入賞を目指し、茶園管理と良質茶製造に向けた取組を強化するとともに、その結果を積極的にPRし、ブランド力の向上を図ります。

リーフ茶離れが進む若年層の消費喚起や「かごしま茶」の認知度向上を図るため、

SNS等を活用した「かごしま茶」プロモーション、茶の機能性についての分析・評価をPRに活用する等、新たな視点でのアプローチに取り組めます。

また、今年度は「燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会」が開催されるため、このような大会等の機会を最大限に活用して、「かごしま茶」のPRを実施します。

## (5) 輸出の促進

令和5年3月に改訂した「農林水産物輸出促進ビジョン」に基づき、輸出相手国に応じた戦略的取組を強化します。

米国向けについては、輸出の中心が抹茶であるため、原料となるてん茶の加工施設整備を進めます。また、EU向けについては、有機栽培茶の生産拡大を図るため、実証圃設置や研修会開催により、茶園管理技術の改善及び生産技術の普及を図ります。

### 本県における茶栽培面積、有機栽培面積の推移

(単位:ha)

| 項目           | R2年度  | R3年度  | R4年度  | R4/H23 |
|--------------|-------|-------|-------|--------|
| 茶栽培面積(①)     | 8,360 | 8,300 | 8,250 | 95%    |
| 有機栽培面積(②)    | 663   | 698   | 694   | 314%   |
| 割合(②/①)      | 8%    | 8%    | 8%    | -      |
| うち有機JAS面積(③) | 567   | 578   | 592   | 312%   |
| 割合(③/②)      | 86%   | 83%   | 85%   | -      |
| 参考:静岡県有機栽培面積 | 198   | 210   | 265   | -      |
| 参考:全国有機JAS面積 | 1,374 | -     | -     | -      |

(資料)茶栽培面積(農産園芸課まとめ)、  
有機栽培面積、うち有機JAS面積(経営技術課まとめ)

また、海外からの需要に対応するため、「かごしま茶輸出サプライチェーン」を核に、相手国のニーズや食品安全基準に対応した茶づくりを進めます。

かごしま茶の海外への情報発信や販路開拓については「かごしま茶輸出対策実施本部」を中心に、生産者や茶商による海外商談会や

国際コンクールへの出展を支援するとともに、日本茶大使（海外在住の日本茶インストラクター）と連携したPR等に取り組みます。



日本茶大使による「かごしま茶」の魅力発信(台湾)

さらに、海外需要に対応できる新品種「せいめい」の産地化を図るため、令和3年度に設立した「せいめい」研究会を中心に、高品質安定生産技術の産地への導入に取り組みます。

また、同時に茶商と生産者が協力し、求評会の開催や試供品の作成等海外への販路開拓に向けた取組も進めます。



「せいめい」研究会 求評会

#### (6) かごしま茶の文化の振興

手摘み体験やお茶の入れ方教室など、児童生徒へ茶と触れ合う機会を提供するとともに、茶にまつわる歴史や文化を継承し、それらを観光の資源として、インバウンド等に活用することにより、かごしま茶のファンづくりを進めます。



お茶の入れ方教室

### 3 おわりに

県においては、①「かごしま国体」等イベントと連携した「かごしま茶」の認知度向上、②高収益な茶種への転換や省力・省エネ化による茶業経営の改善、③海外需要に対応した茶づくりなど輸出の拡大に取り組み、「儲かる茶業経営」の実現を目指します。

生産量・品質・産出額ともに全国1位を見据えて、「茶」と言えば「鹿児島」と言われるように、生産者をはじめ、関係機関・団体と一体となって取り組んでまいりますので、一層の御理解・御協力をお願いします。

#### 【「かごしま茶」未来創造プラン】

<https://www.pref.kagoshima.jp/ag06/>

[kagoshimacha\\_mirai\\_plan.html](https://www.pref.kagoshima.jp/ag06/kagoshimacha_mirai_plan.html)

(県農政部 農産園芸課 茶業係)





# 本県茶業を担う若者たち

～ 農業大学校茶業科新入生紹介  
ご指導・ご支援よろしく申し上げます!～

令和5年4月11日、県立農業大学校農学部茶業科に46期生5名が入学しました。学生は、いずれも就農や茶関連部門への就職を希望しており、将来の本県茶業の担い手として期待されます。

6月中旬からは、1年生が農場管理を引き継ぎ、整枝、施肥、防除等の茶園管理実習を行います。また、各自プロジェクト課題を設け、栽培・加工・病虫害・土壌肥料の知識・技術を習得する計画です。



岩崎百華  
(鹿児島市)



新原啓  
(南九州市)



福田凱心  
(南九州市)



山下皓聖  
(福岡県)



山床春翔  
(出水市)

今後2年間の実習や講義を通じて、本県茶業を担う人材の育成に取り組んで参ります。生産者をはじめ、流通・関連企業、関係機関、団体の皆様方のご指導・ご支援をよろしく申し上げます。

## < 農業大学校夏のオープンキャンパスのご案内 >

農業大学校では「夏のオープンキャンパス」を  
2回予定しています

**期日: 8月8日(火)、8月20日(日)**

農業に興味や関心のある方、農大の教育内容等を知りたい方は是非ご参加ください。多数の参加をお待ちしています。

申込方法は、最寄りの支庁・地域振興局の農政普及課、または以下へお問い合わせください。

問合せ先：鹿児島県立農業大学校 教務指導課  
〒899-3311 日置市吹上町和田1800  
TEL: (099)245-1071

< 茶業科および全体内容(予定) >

- ★農大概要説明、入学案内
- ★学生による学科紹介
- ★農大施設見学
  - ・教室、ほ場、学生寮 など
- ★体験実習
  - ・ロボット茶摘採機実演、試乗



\*農業大学校のホームページでも確認できます。

鹿児島農大

検索

## 流通情勢



# 令和5年産一番茶取扱概況



令和5年5月31日現在

J A 鹿児島県経済連 茶事業部

### 1. 取引概況

(1) 生育については、茶樹の休眠覚醒時期となる1月中旬に気温が上昇したことや、2月から3月にかけての平均気温が平年よりやや高めに推移したことで、早生品種を中心に平年よりやや早い生育開始となった。一方で、4月から5月にかけては朝晩が冷涼な気温となったことで、品種間や産地間の生育格差は明確にあらわれた。また、4月9日早朝は内陸部を中心に気温が0℃近くまで下がり、防霜が不十分な圃場を中心に、一部凍霜害が発生した。

- ・新茶の取引開始は、昨年より1日早い3月29日（種子島産）
- ・新茶初取引会は4月6日、799点81.4トン（本茶のみ）（R4：4月6日 56点2.7トン）

(2) 早場産地が生産を開始した3月下旬から4月上旬は、被覆後の曇天や降雨による日照不足の影響を受け、芽重型茶園の製品を中心に、芽合いは良いものの、色沢や水色に乏しい製品が散見された。総体的に走り産地や早場産地の‘ゆたかみどり’‘さえみどり’において収量が少ない開始となり、4月9日、10日の寒の戻りの影響で、‘ゆたかみどり’においては、色沢が優れない製品も散見された。また、下葉や茎の硬化がみられる原料においては、摘採位置を上げて、品質を落とさない生産が励行された。

(3) 中山間産地においては、例年より早い4月10日前後から生産を開始し、気象の影響を大きく受けることなく順調に芽を追った生産がなされた。一方で、朝晩が冷涼な気温となったことから、昨年同様に下位芽の伸育が緩慢となり、4月中旬過ぎまでは、品種を問わず、減産傾向となった。

(4) 取引については、産地間での生育差があったことや最盛期時期の降雨の影響により、入荷量が分散されたことから、4月18日から20日にかけての3日間が日量200トンを上回る上場量となり、市場の最盛期を迎えたものの、4月下旬以降は、早場産地の本茶生産に目途がついたことで、出回り量も170トンから100トン前後と漸減傾向となった。

5月の連休明けについても、一番茶の終盤となったことと、天候の影響により上場量は膨らまず、その後も入荷量が少なかったことから、隔日おきの入札となった。

【200 t以上の上場 R4：6日間、R3：3日間、R2：1日間、R1：5日間、H30：8日間】

(5) 県茶市場の取扱量は、南薩地区からの上場量が増加したことから、本茶については前年並みとなったものの、全県的に4月、5月の朝晩の気温が冷涼に推移したことで、芽伸びが緩慢となったことから、本茶、番茶共に減産となった。また、番茶価格が低下したことから、番茶の生産を見合わせた工場も一部にみられ、番茶が取扱量が減少し、5月31日現在4,417トンとなった。（前年最終実績4,509トン、前年比96%）

### 2. 品質及び市況

(1) 開始当初の品質については、早い芽の生育に合わせて、早めの被覆が行われたものの、被せ時期となった3月下旬から4月上旬については、降雨や曇天に見舞われ、日照不足による色のり不十分な製品が散見された。また、同一圃場内における茶芽の伸育差も見られ、芽合いや収量の割に、白茎の混入が目立つ不揃いな製品

もあるなど、摘採や製造に苦慮しながらの生産開始となった。価格については、芽合い、色沢、水色良好な製品は、4,000円以上で取引されたものの、繰越在庫が多いとの見通しがあったことや、例年より早い出回りとなったことから、慎重な買いが目立ち、芽が良いものの、色のり不十分な製品は、当初から1,000円台で取引されるなど、品質による価格差の大きい相場展開となった。

- (2) 初取引会以降、4月8日頃から早場産地の工場が一斉に操業を開始し、連日1,000点を超える上場量となり、一気に茶市場の盛期入りとなった。早生の主力品種である‘さえみどり’や‘ゆたかみどり’については、良品が出揃った昨年に比べ、内質に対する買い手の評価は厳しく、上級クラスの製品の仕入れに苦慮するとの声も多かった。また、特上クラスの製品は、昨年以上の価格での取引も見られたが、内質の伴わない製品や色沢や水色に僅かな欠点を有する製品への評価は例年以上に厳しく、‘さえみどり’においては、価格の中心は3,000円前後、‘ゆたかみどり’については2,000円前後が価格の中心となった。なお、4月9日の寒気の影響で色のりがさめる等、一部品質的な影響もみられた。

【3,000円以上 R5:1日、R4:8日間、R3:1日、R2:1日、R1:2日間】

- (3) 中山間産地の生産が本格化して市場の最盛期

を迎えた4月中旬においては、品種や蒸し程度を問わず、芽があり、色沢、水色の良い製品は4,000円以上での取引もみられ、特に山間産地の形状ものは芽を追った製品づくりに徹し、買い手の注目を集めた。一方で、早場・中間産地の‘やぶきた’が上場の中心となり始めた4月20日以降は、1,000円台が取引の中心となり、品質差の割に価格差の小さい軟調な相場展開となった。また、大形製品や露地製品は1,000円を割り込むなど、品質相応に価格の下げが進んだ。

【2,000円台 R5:11日間、R4:9日間、R3:13日間、R2:12日間、R1:13日間】

- (4) 5月に入ると、中間、遅場産地でも本茶の生産は終盤となり、‘おくみどり’等においても、芽の良い製品は減少し、露地製品や硬葉化の進んだ大形製品が取引の中心となったことから、連休明けには本茶平均価格は1,000円を下回る取引となり、その後も品質の下げに伴い価格の下げがみられた。
- (5) 番茶については、昨年に引き続き、ドリンク原料としての引き合いが弱いこともあり、500円前後での取引であったが、終盤になるにつれ引き合いは弱くなり、350円前後が取引の中心となった。
- (6) 県茶市場の本茶平均価格は5月31日現在1,846円（前年最終2,004円 前年対比92%）となっている。

### 3. 一番茶取扱実績（5/31現在 最終比）

単位(数量:t,平均@:円、対比:%)

|     | R5    |       |     |       | R4    |     |     |       | R5/R4対比 |    |     |    |
|-----|-------|-------|-----|-------|-------|-----|-----|-------|---------|----|-----|----|
|     | 本茶    | 番茶    | 出物  | 合計    | 本茶    | 番茶  | 出物  | 合計    | 本茶      | 番茶 | 出物  | 合計 |
| 数量  | 3,160 | 837   | 420 | 4,417 | 3,141 | 927 | 441 | 4,509 | 101     | 90 | 95  | 98 |
| 平均@ | 1,846 | 534   | 714 | 1,490 | 2,004 | 609 | 832 | 1,602 | 92      | 88 | 86  | 93 |
|     | R3    |       |     |       | R2    |     |     |       | R5/R3対比 |    |     |    |
|     | 本茶    | 番茶    | 出物  | 合計    | 本茶    | 番茶  | 出物  | 合計    | 本茶      | 番茶 | 出物  | 合計 |
| 数量  | 3,121 | 1,015 | 385 | 4,521 | 3,333 | 975 | 352 | 4,660 | 101     | 82 | 109 | 98 |
| 平均@ | 1,916 | 612   | 841 | 1,532 | 1,621 | 656 | 650 | 1,346 | 96      | 87 | 85  | 97 |



4. 品種毎（本茶）取扱実績（5/31現在 最終比）

| 品 種 名  | R5年産<br>取扱数量(t) | 平均価格（円） |       |       | 対比（%） |       |
|--------|-----------------|---------|-------|-------|-------|-------|
|        |                 | 令和5年    | 令和4年  | 令和3年  | R5/R4 | R5/R3 |
| ゆたかみどり | 1,148           | 1,774   | 2,014 | 1,757 | 88    | 101   |
| さえみどり  | 560             | 2,573   | 2,884 | 2,675 | 89    | 96    |
| あさのか   | 137             | 1,941   | 1,921 | 1,957 | 101   | 99    |
| あさつゆ   | 153             | 2,043   | 2,114 | 2,197 | 97    | 93    |
| やぶきた   | 624             | 1,656   | 1,725 | 1,739 | 96    | 95    |
| かなやみどり | 77              | 1,439   | 1,469 | 1,631 | 98    | 88    |
| おくみどり  | 103             | 2,124   | 2,067 | 2,297 | 103   | 92    |

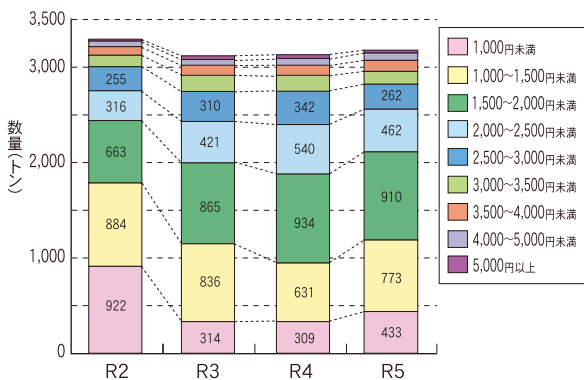
5. 県茶市場 地区毎実績（5/31現在 最終比）

（単位：t、円、%）

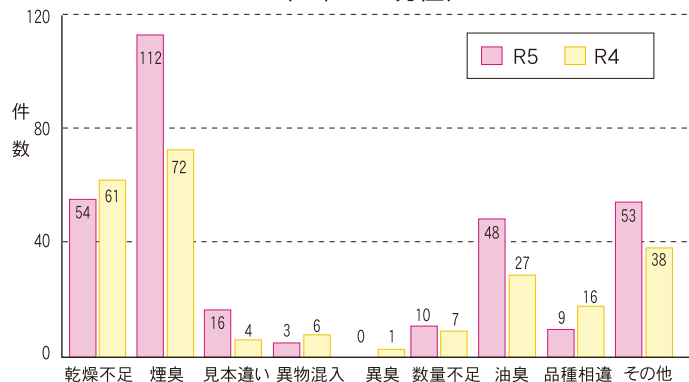
| 農 協 名   | 項 目 | 令和5年  |     |       |       | 前 年 対 比 |     |     |     |
|---------|-----|-------|-----|-------|-------|---------|-----|-----|-----|
|         |     | 本茶    | 番茶  | 出物    | 合計    | 本茶      | 番茶  | 出物  | 合計  |
| いぶすき    | 数 量 | 1,152 | 363 | 106   | 1,620 | 106     | 87  | 94  | 100 |
|         | 平均@ | 2,062 | 529 | 754   | 1,634 | 90      | 84  | 82  | 93  |
| 南さつま    | 数 量 | 1,044 | 180 | 72    | 1,296 | 107     | 98  | 108 | 106 |
|         | 平均@ | 1,670 | 500 | 794   | 1,460 | 91      | 86  | 86  | 92  |
| さつま日置   | 数 量 | 295   | 19  | 66    | 380   | 94      | 116 | 84  | 93  |
|         | 平均@ | 1,121 | 489 | 557   | 992   | 87      | 74  | 89  | 87  |
| 北さつま    | 数 量 | 107   | 65  | 13    | 184   | 92      | 97  | 84  | 93  |
|         | 平均@ | 2,600 | 571 | 1,578 | 1,814 | 117     | 100 | 115 | 114 |
| 鹿児島いずみ  | 数 量 | 6     | 6   | 2     | 14    | 75      | 81  | 73  | 77  |
|         | 平均@ | 2,059 | 617 | 435   | 1,213 | 116     | 100 | 95  | 110 |
| あいら     | 数 量 | 134   | 62  | 45    | 241   | 102     | 101 | 118 | 104 |
|         | 平均@ | 2,214 | 634 | 417   | 1,472 | 108     | 96  | 75  | 103 |
| そお鹿児島   | 数 量 | 49    | 11  | 29    | 88    | 85      | 60  | 95  | 84  |
|         | 平均@ | 2,294 | 684 | 753   | 1,598 | 108     | 82  | 85  | 103 |
| あおぞら    | 数 量 | 140   | 30  | 28    | 198   | 79      | 68  | 80  | 77  |
|         | 平均@ | 1,764 | 443 | 689   | 1,413 | 90      | 87  | 88  | 91  |
| 鹿児島きもつき | 数 量 | 199   | 93  | 59    | 351   | 88      | 92  | 97  | 90  |
|         | 平均@ | 1,895 | 533 | 763   | 1,346 | 84      | 94  | 86  | 84  |
| 種子屋久あまみ | 数 量 | 23    | 9   | 2     | 34    | 49      | 83  | 75  | 57  |
|         | 平均@ | 1,618 | 655 | 765   | 1,308 | 79      | 106 | 69  | 75  |
| そ の 他   | 数 量 | 11    | 0   | 0     | 11    | 114     | 38  | 9   | 106 |
|         | 平均@ | 1,957 | 630 | 388   | 1,935 | 97      | 110 | 58  | 102 |
| 合 計     | 数 量 | 3,160 | 837 | 420   | 4,418 | 101     | 90  | 95  | 98  |
|         | 平均@ | 1,846 | 534 | 714   | 1,490 | 92      | 88  | 86  | 93  |

※ラウンドにより合計は一致しない場合がある。

6. 価格帯別取扱実績（5/31現在）



7. 苦情茶並びに欠点茶の内容別発生件数（5/31現在）



県茶生産協便り

# 令和5年度の主な取り組みについて

(一社)鹿児島県茶生産協会

## 経営改善研修会・定期総会を開催



令和5年2月22日(水)に「令和5年度経営改善研修会及び定期総会」を、鹿児島サンロイヤルホテルで開催しました。新型コロナウイルスによる各種規制が緩和されてきたこともあり、約270名を超える多くの会員、茶業関係者が出席しました。

経営改善研修会では、鹿児島大学農学部 侯徳興(こう のりおき)教授と県農業開発総合センター茶業部 長ヶ原智研究専門員に「かごしま茶の機能性分析・評価に資するトライアル活動」と題して

講演を頂き、生活習慣病や抗アレルギー作用等の機能性成分を効果的に活用する生産体系について、研究成果を紹介していただきました。

総会では、第1号議案「令和4年度事業報告及び計算書類について」が承認された後、令和5年度事業計画及び収支予算を報告しました。

第2号議案では、「役員改選について」を協議し、令和5～6年度の新役員が全会一致で承認され、総会を終了しました。

# 令和5年度の主な事業計画

以下が主な計画です。会員・関係者の皆様方の御協力をお願いします。

## 茶業経営向上活動事業

### (1) 県内外に向けたイベント等による消費拡大対策

ア 茶業会議所と共催で「かごしま百円茶屋」を4年ぶりに実施



イ 鹿児島マラソンランナーへの「かごしま茶」提供（3月5日）

ウ かごしまお茶マルシェの開催（11月24日、25日予定）

エ かごしま国体でのお茶振る舞い（10月7日予定）

オ 日本茶インストラクターかごしま茶プロモーション

関東等の日本茶インストラクターを募り、「産地ツアー」を実施。

本年は鹿屋市や南薩・茶市場等を巡り、「かごしま茶」への理解を深めてもらう計画（8月9～11日予定）

### (2) メディアを活用した認知度向上対策

ア インスタグラムによるPR

若年層の利用率が高い「インスタグラム」で「かごしま茶」をPR。

「かごしま茶ナビ」で検索してください。毎週、情報を掲載中。

### (3) 学校等との連携による魅力創出・PR対策

ア 県立短期大学、お茶好き高校生による「かごしま茶」PRと魅力の創出を支援

「かごしま茶」を用いた新製品づくりや消費拡大・PR活動等に助成

イ お茶とのふれあい事業資材提供

お茶に対する関心を高め、「かごしま茶」の消費拡大を図るため、小学生やその保護者等を対象に、日本茶インストラクターによるおいしいお茶の入れ方教室を実施しています。参加者にはお茶のおいしい入れ方が描かれているクリアファイルを提供しています（県内各地の小学校228校、児童数9,124名が受講予定）。





## 「令和4年度通常総会」開催

令和5年3月22日(木)当組合の令和4年度(第50回)通常総会が鹿児島サンロイヤルホテルで開催されました。

澤田理事長の挨拶に続き、議案の審議を行い原案通り可決されました。

引き続き(売)買参人組合総会及び静岡の(有)川連幹旋との情報交換会が行われました。

### 決算概況

令和4年度の売上は前年度比1億1,635万円の減少(共販事業が前年度比1億1,505万円の減少)となり、純利益も前年度比310万円減少しました。

特に、静岡共販の落ち込み(前年度比8,640万円の減少)が大きく影響しました。

但し、営業外収益で営業損失分をカバーし最終的に利益を計上できました。

### 次年度計画

「新型コロナウイルス」の患者数は減少傾向にありますが、燃料費や諸物価が値上がりし日常生活に多大な影響が出ており、茶業界を取り巻く環境も厳しい状況にありますが従来同様、イベント開催や販路開拓により業績向上を目指してまいります。



## 「澤田執行部新体制」スタート

令和5年3月22日(木)開催の令和4年度定時総会で「理事並びに監事の任期満了に伴う役員改選」が行われ、選出された新理事による同日開催の第1回

理事会及び3月30日(木)開催の第2回理事会で、令和5年度から任期2年の新体制が下記の通り決定しました。

### 1. 新役員

- 〔理事長〕 澤田 了三  
〔副理事長〕 佐多 浩二・新原 進也・濱田 眞一  
〔専務理事〕 岡村 謙  
〔理事〕 中禮 雅治・森 裕之・栗畑 政茂・池田 研太・岡 秀実  
〔理事格〕 松永 隆洋  
〔監事〕 新山 昇・山口 真一・宮原 高博

### 2. 関係団体の役員

〔(公社)鹿児島県茶業会議所〕

- ① 〔理事〕 澤田 了三・新原 進也・濱田 眞一・岡村 謙・中禮 雅治・森 裕之  
② 〔監事〕 佐多 浩二

- ③ 〔鹿児島県茶市場運営委員会委員〕 濱田 眞一・岡村 謙・森 裕之・栗畑 政茂  
④ 〔債権損失補償限度額審査委員会委員〕 澤田 了三・新原 進也・松永 隆洋  
⑤ 〔茶業功労者表彰委員会委員〕 澤田 了三  
⑥ 〔かごしまブランド確立推進委員会委員〕 澤田 了三・岡村 謙・栗畑 政茂  
⑦ 〔鹿児島県茶品評会及び鹿児島県茶経営改善コンクール審査員〕 澤田 了三・濱田 眞一・岡村 謙・中禮 雅治  
⑧ 〔かごしま標章茶審査会審査員〕 栗畑 政茂・池田 研太・岡 秀実

# アメリカお茶市場トレンド便り

在米コンサルタント

ナチュラル・プロダクツ業界専門のコンサルタントKentreeの溝呂木（みぞろぎ）です。現在ロサンゼルスを拠点に活動、情報発信をしています。

やっと日米共に新型コロナの水際対策も終わり、ようやく動きが自由となりました。アメリカ国内では展示会を含むイベントは活発に開催されています。

私自身も3年半ぶりに来鹿することが叶い、一番茶収穫の状況や新茶まつりを見学することができました。

今回は3月に開催された「ワールドティーエキスポ」についても記事としましたのでご覧ください。

## 「World Tea Expo 2023 inラスベガス」 の様子をフォトエッセイでお届け

アーロン・キール 2023年4月5日



茶業界で働く人をエンパワーメントするイベント「2023 World Tea Conference +Expo」が、今年も3月27日から3日間ラスベガスで開催された。大手企業をはじめ茶関連のバイヤーや起業家たちなど茶業界のプロフェッショナルが集結し、キャリアアップ、スキルアップを楽しんだ。その熱気あふれる会場の様子、気になるトピックをテーマにしたセッション、ネットワークづくりの様子など、参加できなかった方のためにイベントの様子をフォトエッセイでご紹介しよう。

### 見逃せない8つのポイント：

1. 活気あふれる展示会場で、最新の茶、イノベーション、テイस्टینگ、茶関連製品を一挙公開



展示会場では、  
たくさんの試飲  
ができる

国外からの  
参加者(ITI)



試飲の様子

参加者のために  
抹茶を点てる様子



## 2. 充実した教育セッションとワークショップ



会場では多くの  
セッションやワー  
クショップが開催  
されている





セッションでのプレゼンテーションの様子



年に1回のイベントに世界中から参加者が集い、繋がる

セッションの合間に参加者同士が繋がる場面も



イベントでのネットワークづくりの最中も、お茶は欠かせません！



### 3. ティー・バー



エキスポの人気スポットのティー・バーでは、参加者同士が集まり、ネットワークを広げる。サンプルや茶のカクテル、モクテルを試す

### 6. デヴァン・シャー・ティー・タイクーンズ・コンペティションとワールド・ティー・ベスト・オブ・アワード



エキスポ期間中、ステージで生中継された「Devan shah Tea Tycoons」コンテストで審議する審査員たち

### 4. ウェルカムレセプション

ウェルカムレセプションとオープニングパーティー



ウェルカムレセプションとオープニングパーティーの参加者



The 2023 World Tea の受賞者たち

### 5. ネットワークづくり、茶業界の仲間づくり、ビジネスコネクションづくり



会場でのネットワークづくり

### 7. 2023の特別企画：ヘンリエッタ・ラベルのリ・ラ茶体験とケビン・ガスコインによる希少な茶葉のテイスティング



レア・ティー・カンパニーのヘンリエッタ・ラヴェル (通称:ティー・レディ)





最も希少な茶の利き茶を行ったカナダのカメリア・シネンシスのケビン・ガスコイン(右端)とチームメンバー

## 8. 垂直市場（バーやレストラン業界）との連携の重要性とバー、レストラン、バイヤーとのコネクションづくり



会場入口の様子

原題：Photo Essay:Here's What You Missed at World Tea Expo 2023 in Las Vegas(抜粋)

## 緑茶の市場規模、2028年に「261億6000万ドル超え」を予想

WTN編集部 2023年3月15日



世界の緑茶市場は2021年に134億1000万ドル（約1兆8000億円）となり、2028年には261億6000万ドル（約3兆6000億円）に達すると予測される。（Vantage Market Research調べ）

タイプ別に見ると、ティーバッグと業務用緑茶が急速に成長している。特に健康志向の購入者が増えていることから商業施設での緑茶の販売も増加するとみている。

また、様々なブランドの緑茶製品が手頃な価格で入手できるため、ハイパーマーケット（大型量販店）やスーパーマーケットで緑茶を購入する消費者

が増加傾向にある。

当レポートでは、市場概要、タイプ、競合状況、地域別流通チャンネルに基づき考察したトレンドを提供する。

### 緑茶の市場ダイナミクス

緑茶市場は消費者の健康、自然製品に対する需要の高まりと、茶文化の世界的な広まりが後押しとなり成長を続けている一方で、原材料の価格変動や厳しい規制によるコスト高、また代替飲料との競争激化など成長を抑制する要因もある。

高品質の製品を提供し、革新的なマーケティングやプロモーション戦略で新しい流通チャンネルを開拓するなど、課題克服にも努めている。

### 緑茶市場の今後の取り組み

**高品質な製品の提供：**消費者のニーズと嗜好に合った高品質の緑茶製品を提供することで顧客のロイヤルティを高め、市場の成長を促進する。

**革新的なマーケティングとプロモーション戦略を活用する：**革新的なマーケティングおよびプロモーション戦略を活用した製品の発売、新しいフレーバーの導入、ターゲット広告キャンペーンなどを行う。これにより緑茶の認知度と人気を高め、市場の成長を促す。

**新しい流通チャンネルを開拓する：**オンライン販売や専門店など、新たな販売チャンネルを開拓することで、販路を広げ、売上を伸ばす。

**持続可能性に焦点を当てる：**環境に配慮したパッケージの使用や、持続可能な資源からの原材料の調達など、持続可能な活動を事業運営に取り入れることで、競合他社との差別化を図る。

**健康・ウェルネスブランドとのコラボレーション：**健康ブランドとコラボレーションすることで、緑茶の健康効果をアピールし、消費者からの人気を高める。

**研究開発への投資：**消費者のニーズや嗜好の変化に対応した、より革新的な緑茶製品を開発するための研究開発に費用を投じることで、競合他社に先行する。

レポートによると緑茶市場に参入する企業が成長、成功するために必要なことは、品質、革新性、持続可能性、顧客ニーズに焦点を当てることである。市場の課題に対処し、その機会を活用す

ることが長期的な成功をもたらす。

### 緑茶市場における今後のトレンド

**ベジタリアン製品の需要増**：ベジタリアン人気も天然の植物性製品である緑茶の需要を促進している。植物由来の製品を提供することや、ビーガン向けであることを強調することで、このトレンドを利用することができる。

**機能性飲料の人気の高まり**：緑茶は、多くの健康効果をもたらす機能性飲料であることから、今後も市場の成長を促進すると予想される。企業は、自社製品の健康効果をアピールし、健康志向の高い消費者をターゲットにすることで、このトレンドを活用することができる。

**オンライン販売の拡大**：ネットビジネスの成長は今後も続くと予想されるため、オンライン販売チャネルを提供し、より幅広い顧客層にアプローチすることで、このトレンドを活用できる。

**スペシャルティ・ティーへの需要の高まり**：消費者が新しいフレーバーやユニークなフレーバーに興味を持ち、緑茶を含むスペシャルティ・ティーへの需要が高まると予想される。企業は、緑茶製品のラインナップを増やすことでこの傾向を利用できる。

**持続可能性への注目の高まり**：持続可能性や環境に配慮した製品を求める傾向は今後も続くと予想される。企業は、環境に配慮したパッケージの使用や持続可能な資源からの原料調達などの取り組みを業務に取り入れることで、競合他社との差別化を図ることが可能になる。

### 緑茶市場 - 地域別分析

中国、インド、日本などの国々で茶の消費量が多いことから、アジア太平洋地域は、緑茶の最大市場である。これらの国々では、緑茶は長い歴史があり文化的に重要な意味を持つ。またその潜在的な健康効果から広く消費されている。この地域では、高級緑茶製品を提供する専門店やカフェの数も多い。

北米も緑茶の重要な市場であり、健康的で自然な飲料への関心が高まるにつれ、ボトル入り緑茶、抹茶、緑茶入り食品・飲料製品など、緑茶を使った商品が増えている。

欧州では、イギリス、ドイツ、フランスなどの地域を中心に、緑茶が根強い人気がある。またこの地域では、高級な緑茶製品を提供する紅茶専門店やオ

ンライン紅茶販売店も人気が高い。

南米、アフリカ、中東などのその他の地域でも、緑茶の潜在的な健康効果に対する消費者の認識が高まっている。より健康的な飲料を求める傾向が強まるにつれ、緑茶市場も伸びている。

全体として、世界の緑茶市場は、健康的で自然な飲料への需要の高まりや、専門店や高級緑茶製品の人気によって、今後数年間は成長を続けると予想される。

原題:Size and Share to Exceed US\$26.16Billion by

2028,Per New Reseach(抜粋)

### 2023年フレーバーのヒット予測

#### 「黒ゴマ」「ミント」「ロンドンフォグ」

アーロン・キール 2023年1月11日

Beck Flavorsは、2022年の嗜好、メガトレンド、購買行動を分析し、「2023年のフレーバー」を予測した。その結果、フルーツ、植物、自分へのご褒美、イノベーションの各カテゴリーでの1位は次のようになった。

#### ガーデンミント、スパイシー・タマリンドなど

2023年の各部門の1位は、カーニバル・グレープ（フルーツ）、ガーデンミント（植物）、オレンジ・グレーズド・シナモンロール（自分へのご褒美）、スパイシー・タマリンド（イノベーション）に決定した。

中でも、今年の革新的なフレーバーは「スパイシー・タマリンド」であるという。その味わいは、甘酸っぱいものからピリッとした酸味のあるものまで幅広く、パイナップルやキャラメルなどの甘いフレーバーと組み合わせることができる。さらに唐辛子の辛さを加えれば、違った風味を味わえる。

嗜好品はネガティブに捉えられがちだが、それらはセルフケアの観点から感情や精神的な幸福感を高めるものとして捉えることができる。甘さ、柑橘類、セルフケアの組み合わせを考慮し、2023年の嗜好品フレーバーとして、「オレンジ・グレーズド・シナモンロール」が1位に選ばれた。

植物部門の1位には、若返りフレーバーである「ガーデンミント」が選出された。ガーデンミントは、他にない独特のフレッシュさ、五感を刺激するさわやかさ、そして不安を軽減し睡眠を改善する香

りも特徴である。

また、あるフレーバーや香りが、消費者の大切な記憶や感覚を呼び覚まし、まったく新しい世界を体験できることがある。そのため、フルーツ部門1位には、カーニバルにふさわしい甘い香りと、クラシックなブドウの風味が特徴のカーニバル・グレープが選ばれた。ブドウには甘みと健康効果、そしてノスタルジックな“なにか”を提供する品種が数多くある。そして、そのトレンドは、現在、食品・飲料分野の多くのカテゴリーにおいて、ブドウが復活の最前線にあることを示している。



### ノスタルジーと変わり種コーヒー

食品大手のライオンズ・マグナス(Lyons Magnus)は、2023年の食品・飲料業界に影響を与える新たなトレンドとして、「ノスタルジーの力」や「変わり種コーヒー」などを挙げている。幸せな時代を思い出せる、心が安らぐ馴染みのある味に惹かれる消費者は、2023年に「ほっこり」するようなノスタルジックなレシピや味を求めるようになるであろう。

また従来の紅茶やコーヒー以外の「変わり種コーヒー」が増えると指摘する。アメリカ固有のヒイラギの一種であるヤウポンはカフェインを含む植物だが、抽出することで心地よい味わいと活力を与える茶になる。革新的なりフレッシュドリンクやエナジードリンクなど、コーヒーに代わるカフェイン入りの代替品全般がより多く提供されることも予想される。

### 2023年、炒り黒ゴマに注目

2023年の総合1位には「炒り黒ゴマ」が選ばれた。

紅茶やティー・ラテ、ポバティーなどでも黒ゴマが使われる。黒ゴマは、白ゴマに比べ、濃厚でナッツのような風味があり、炒ることでさらに風味が増す。

Torani社では、グローバルに展開する当社の150種類以上のシロップ・ソースのラインアップに「ピュアメイド炒り黒ゴマシロップ」を商品に加える。

同社によると、この黒ゴマシロップは2つの大きな消費者トレンドに寄り添っていると言う。1つ目は「食×観光」で、消費者は異文化を体験し、おもしろいフレーバーを味わいたいと考えている。もう一つは「インスタ映え」だ。

Googleトレンドのデータによると、過去15年間にオンライン検索数が着実に増加していることからわかるように、全体的に黒ゴマの人気は近年高まりつつある。



### ロンドンフォグ、マンゴナダ、桜

Datassentialは2023年にヒットするフレーバーや食材として、「ロンドンフォグ」「マンゴナダ」「柚子」「スパイシーメープル」「ニューマッシュルーム」などを挙げている。また今後、2023年以降に注目すべき食材として「桜」を選んだ。



原題：Experts Name Black Sesame, Garden Mint, London Fog Among Flavors of the Year (抜粋)

(詳しくはブログにて)

<http://kagoshimacha.blogspot.com>



# 事務局便り

## 最近の動き（4月～）

### 鹿児島県茶業会議所

#### 新茶初取引会（4月6日 かがしま茶流通センター）

全国のトップを切って新茶の初取引会を行いました。5市町から799点、81トンの上場があり、多くの関係者が見守る中で取引が行われました。また、関係者が神事を行い、今年の茶の活況を祈願しました。



大正から昭和にかけて茶業振興に尽力され、本県茶業の基礎を築かれた樋渡次右衛門翁の記念碑に献茶し、本県茶業の発展を祈願しました。今年は煎茶道知庵流御一門により格調高く執り行われました。

#### 知事への新茶贈呈（5月25日 鹿児島県庁）

かがしま茶をトップセールスしていただいている塩田知事に、柚木会頭より新茶を贈呈し、今年の出来を味わってもらいました。呈茶は、茶業会議所の出水書記（日本茶インストラクター）が行い、知事からは、甘みがあり、とてもおいしいとの言葉をいただきました。



#### 空港新茶キャンペーン

（4月29～30日 鹿児島空港到着ロビー）

かがしまCHAガール、日本茶インストラクターの方々のお手伝いをいただき、鹿児島空港を利用される多くのお客様にかがしま茶の新茶を味わっていただきました。



#### J R九州博多駅かがしま茶新茶キャンペーン

（6月3～4日 JR九州博多駅）

4年ぶりにJR九州博多駅で、かがしま百円茶屋とかがしま茶の販売を行いました。JAいぶすきと県茶商協が出展・販売。連日多くのお客様が百円茶屋に訪れ、かがしま茶の新茶を味わっていただきました。



#### 八十八夜の献茶祭

（5月2日 かがしま茶流通センター）

